

中学校との連携 ～英語の”中一ギャップ”をなくそう～

・ Daily question(気分、天気、曜日、日付) ・ アルファベットの書き方

目指す児童像

自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする児童

5・6年生
「したしむ」

3・4年生
「なれる」

1・2年生
「ふれる」

本校の取組

- ・ 授業の展開(高根スタイル)の確立
- ・ ふり返りノート
- ・ BESTで自己評価
- ・ 英語を交えた校内放送
- ・ 英語の歌を取り入れた音楽朝会
- ・ 特別支援学級の英語劇
- ・ 国際理解ルーム
- ・ 高根式外国語活動コーディネーター

授業の工夫

- ・ 児童が進んで学習活動に参加するための手だての工夫(教師の支援)
- ・ 必要感があり、ねらいにせまるアクティビティの工夫(アクティビティ)
- ・ 児童の意欲を向上させるための評価の工夫(評価)

Check
評価

Action
改善

Plan
計画

9か年を見通した学習の計画(系統性を意識した学習内容・発達の段階に応じた学習活動・評価方法)

仮説1

・ 学習過程を統一した授業を実現すれば、児童は安心して取り組み、進んでコミュニケーションを図るであろう。

仮説2

・ 生活に即した対話的な活動(アクティビティ)を取り入れれば、児童は進んでコミュニケーションを図るであろう。

仮説3

・ コミュニケーションを図る場や活動を多く設定すれば、児童は進んでコミュニケーションを図るであろう。

実態の把握(授業内容の評価・振り返りノート・意識調査・実態調査 等)

研究主題

生きて働く知識・技能を身に付けさせる外国語の授業づくり

～自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成～